教育情報アプリケーションユニッ						
		<u>携 小中学校版」製品</u> 青報プラットフォーム準拠確認	チェックリスト			
APPLIC 登録番号:	K00073					
<u>※赤字部分は、V3.3からV3.</u>	4の変更箇所を示す。	т. ,				
1) 対象標準とバージョン		0-0002-2019				
	·教育性 ·自治体	・教育情報アプリケーションユニット標準仕様校務基本情報データ連携小中学校版V2.0 ・自治体業務アプリケーションユニット標準仕様V3.4 ・プラットフォーム通信標準仕様3.2				
2) 地域情報プラットフォーム準拠確 (a) 申請日(西暦年月日):		<u>報と連絡先</u> 12月2日				
(b) 申請区分(新規、修正、破	(棄): 新規	新規				
(c)申請者 団体名:	株式会	社システムリサーチ	★識別キー項目1			
団体のURL: APPLIC会員番号	http://v	http://www.sr-co.co.jp/ (識別キー項目4つで K000731 ユニークになるように				
(d) 製品情報 代表製品名:		ュープ)School 校務エキスパートJ	申請者が指定する) r★識別キー項目2			
製品説明のURL: 複数製品で構成する場合追 複数製品で構成する場合追 複数製品で構成する場合追	自記: 自記:	/e3school-koumu-jr.com/_				
製品識別情報(バージョン等)	春): Ver.3.0		★識別キー項目3			
リリース日(予定)(西暦年月	月日): 2019年	12月27日				
対応OS:	Red Ha	t Enterprise Linux 6.6以上、Cent	tOS6.6以上			
製品の形態((0)型から(3)型	!): (0)型					
製品単品	製品単品	製品分離型	製品分離型			
業務処理製品	業務処理製品	業務処理製品	業務処理製品			
(データ交換処理型) ※1	(データ交換処理型) ※1	(データ交換処理型)※1	(データ交換処理型)※1			
(データ交換処理型)		(アーダ父長処理型)※1 PF通信製品	(テーダ交換処理型)※1 Y社PF通信製品			
(データ交換処理型) ※1 (0)型	<mark>※1</mark> (PF通信処理) (1)型	PF通信製品 (2)型	Y社PF通信製品 (3)型			
(データ交換処理型) ※1 (0)型 ※1 "データ交換処理"とは、	<mark>※1</mark> (PF通信処理) (1)型	PF通信製品 (2)型	Y社PF通信製品			
(データ交換処理型) ※1 (0)型	<mark>※1</mark> (PF通信処理) (1)型	PF通信製品 (2)型	Y社PF通信製品 (3)型			
 (データ交換処理型) ※1 (0)型 ※1 "データ交換処理"とは、 前提となるPF通信製品 前提PF通信製品名: 	※1 (PF通信処理) (1)型 メッセージ定義に沿ったデー	PF通信製品 (2)型	Y社PF通信製品 (3)型 いと入力できる機能(インポート)を指す。 ※2			
(データ交換処理型) ※1 (0)型 ※1 "データ交換処理"とは、 前提となるPF通信製品 前提PF通信製品名:	※1 (PF通信処理) (1)型 メッセージ定義に沿ったデー 既に、準拠登録申請してあるPF	PF通信製品 (2)型 タを出力できる機能(エクスポート 通信機能を実装する製品名を記載す	Y社PF通信製品 (3)型 いと入力できる機能(インポート)を指す。 ※2			
 (データ交換処理型) ※1 (0)型 ※1 "データ交換処理"とは、 前提となるPF通信製品 前提PF通信製品名: ※2 (2)型から(3)型の場合、F (e) 製品のクラウドでの提供F 	※1 (PF通信処理) (1)型 メッセージ定義に沿ったデー はこういて 構築実	PF通信製品 (2)型 タを出力できる機能(エクスポート 通信機能を実装する製品名を記載す	Y社PF通信製品 (3)型 いと入力できる機能(インポート)を指す。 ※2			
 (データ交換処理型) ※1 (0)型 ※1 "データ交換処理"とは、 前提となるPF通信製品 前提PF通信製品名: ※2 (2)型から(3)型の場合、 (e) 製品のクラウドでの提供(提供の有無: 参考となる情報(オプション) 対応可能なネットワーク: LGWAN: 	※1 (PF通信処理) (1)型 メッセージ定義に沿ったデー はこういて 構築実	PF通信製品 (2)型 タを出力できる機能(エクスポート 通信機能を実装する製品名を記載す	Y社PF通信製品 (3)型 いと入力できる機能(インポート)を指す。 ※2			
 (データ交換処理型) ※1 (0)型 ※1 "データ交換処理"とは、 前提となるPF通信製品 前提PF通信製品名: ※2 (2)型から(3)型の場合、I (e)製品のクラウドでの提供(提供の有無: 参考となる情報(オプション) 対応可能なネットワーク: 	※1 (PF通信処理) (1)型 メッセージ定義に沿ったデー はこういて 構築実	PF通信製品 (2)型 タを出力できる機能(エクスポート 通信機能を実装する製品名を記載す 績あり	Y社PF通信製品 (3)型 いと入力できる機能(インポート)を指す。 ※2			
 (データ交換処理型) ※1 (0)型 ※1 "データ交換処理"とは、 前提となるPF通信製品 前提PF通信製品名: ※2 (2)型から(3)型の場合、 (e) 製品のクラウドでの提供(提供の有無: 参考となる情報(オプション) 対応可能なネットワーク: LGWAN: 専用線(閉域網): 	※1 (PF通信処理) (1)型 メッセージ定義に沿ったデー: (二ついて) について (清架実)): (二ついて) (二つい) (二ついて) (二つい) (二つい) (二ついて) (二ついて) (二つい) (二つ) (二つい) (二つい) (二つい) (二つい) (二つい) (二つい) (二つい) (二つ) (二つい) (二つい) (二)	PF通信製品 (2)型 タを出力できる機能(エクスポート 通信機能を実装する製品名を記載す 積あり り	Y社PF通信製品 (3)型 いと入力できる機能(インポート)を指す。 ※2 する。 リスト ★識別キー項目4			
 (データ交換処理型) ※1 (0)型 ※1 "データ交換処理"とは、 前提となるPF通信製品 前提PF通信製品名: ※2 (2)型から(3)型の場合、目 (e)製品のクラウドでの提供目 提供の有無: 参考となる情報(オプション) 対応可能なネットワーク: LGWAN: 専用線(閉域網): インターネット: 	※1 (PF通信処理) (1)型 メッセージ定義に沿ったデー: 既に、準拠登録申請してあるPFi について 「富辺対象 教育情報アプリケー: 第回の準拠登録申	PF通信製品 (2)型 タを出力できる機能(エクスポート 通信機能を実装する製品名を記載す 績あり り ションユニット 小中学校版の申請	Y社PF通信製品 (3)型 いと入力できる機能(インポート)を指す。 ※2 する。 リスト ★識別キー項目4			
 (データ交換処理型) ※1 (0)型 ※1 "データ交換処理"とは、 前提となるPF通信製品 前提PF通信製品名: ※2 (2)型から(3)型の場合、F (e) 製品のクラウドでの提供(提供の有無: 参考となる情報(オプション) 対応可能なネットワーク: LGWAN: 専用線(閉域網): インターネット: 3)地域情報プラットフォーム準拠確 	※1 (PF通信処理) (1)型 メッセージ定義に沿ったデー: 既に、準拠登録申請してあるPFi こついて 構築実): 「認対象 教育情報アプリケー: 今回の準拠登録申 2 ユニット 小中学校版	PF通信製品 (2)型 タを出力できる機能(エクスポート 通信機能を実装する製品名を記載す 積あり り ションユニット 小中学校版の申請請の対象業務ユニット1つのみに	Y社PF通信製品 (3)型 いと入力できる機能(インポート)を指す。 ※2 する。 リスト ★識別キー項目4			
(データ交換処理型) (0)型 ※1 "データ交換処理"とは、 前提となるPF通信製品 前提PF通信製品名: ※2 (2)型から(3)型の場合、目 (e)製品のクラウドでの提供(提供の有無: 参考となる情報(オプション) 対応可能なネットワーク: LGWAN: 専用線(閉域網): インターネット: 3)地域情報プラットフォーム準拠確 警号 ユニット K01 学習者情報アブリケーションユ:	※1 (PF通信処理) (1)型 メッセージ定義に沿ったデー: 既に、準拠登録申請してあるPFi こついて 構築実): 「認対象 教育情報アプリケー: 今回の準拠登録申 2 ユニット 小中学校版	PF通信製品 (2)型 タを出力できる機能(エクスポート 通信機能を実装する製品名を記載す 瀬あり り ションユニット 小中学校版の申請 請の対象業務ユニット1つのみば 準拠確認対象	Y社PF通信製品 (3)型 いと入力できる機能(インポート)を指す。 ※2 する。 リスト ★識別キー項目4			
(データ交換処理型) (0)型 ※1 "データ交換処理"とは、 前提となるPF通信製品 前提PF通信製品名: ※2 (2)型から(3)型の場合、目 (e)製品のクラウドでの提供目 提供の有無: 参考となる情報(オプション: 対応可能なネットワーク: LGWAN: 専用線(閉域網): インターネット: 3)地域情報プラットフォーム準拠確 経号 ユニット (K01 学習者情報アプリケーション:	※1 (PF通信処理) (1)型 メッセージ定義に沿ったデー: 既に、準拠登録申請してあるPFi こついて 構築実): 「認対象 教育情報アプリケー: 今回の準拠登録申 2 ユニット 小中学校版	PF通信製品 (2)型 タを出力できる機能(エクスポート 通信機能を実装する製品名を記載す 瀬あり り ションユニット 小中学校版の申請 請の対象業務ユニット1つのみば 準拠確認対象	Y社PF通信製品 (3)型 いと入力できる機能(インポート)を指す。 ※2 する。 リスト ★識別キー項目4			

<u>教育情</u>	報アプリケーションユニット 校務書	<u>を本情報データ連携 小中学校版」製品</u> 地域情報プラットフォーム準拠確認チェック	<u> </u>					
	APPLIC 登録番号:	K000731-0011	★APPLICで	記載				
	<u>※赤字部分は、V3.3からV3.4の変更</u>	<u> 更箇所を示す。</u>						
)対象	標準とバージョン	APPLIC-0002-2019						
		・教育情報アプリケーションユニット標準仕様 校 ・自治体業務アプリケーションユニット標準仕様 校 ・プラットフォーム通信標準仕様3.2		<u>-タ連携 小中学</u>	: <u>校版V2.0</u>			
)地域	情報プラットフォーム準拠確認対象製	品やシステムの情報と連絡先						
(c)申請者 団体名:		株式会社システムリサーチ	株式会社システムリサーチ ★識別キー項目1					
(d) 製品情報 代表製品名 :		e [*] (イーキューフ [*])School 校務エキスパートJr						
	製品識別情報(バージョン等):	Ver.3.0	★識別キー項	目3				
)地域(情報プラットフォーム準拠確認チェック							
		○:対応、○:制限事項(制限事項は)		に記載あり)↓ 製品・				
番号	要件	準拠ルール	必須/ 選択	システム確 認	APPLIC 確認欄			
01	学習者情報アプリケーションユニット 小 校版	中学 教育委員会内・自治体間および学校間で学習者情報アプリケーションユニット 小中学校版のデータ連携を行う。 (教育情報アプリケーションユニット標準仕様 校務基本情報データ 連携 小中学校版の【業務1-4-1,1-7-1,1-8-1,1-9-1,1-13,1-13-1】 を参照)		Ø	0			
01-1	学習者情報アプリケーションユニット小	中学校版(学齢簿情報連携機能は除く)						
01-1-1	学習者情報アプリケーションユニット 小 校版が提供する機能を持つ	(中学)学習者情報アブリケーションユニット小中学校版は、標準仕様の機能一覧の指導要録情報連携で定義された名機能を持つこと。 (教育情報アブリケーションユニット標準仕様 校務基本情報データ 連携小中学校版【業務1-4-1】の機能一覧を参照)	必須	Ø				
01-1-2	学習者情報アプリケーションユニット 小 校版のデータ項目を持つ	中学 学習者情報アブリケーションユニット小中学校版は、利用側業務ユニットに対し、標準仕様のインターフェース仕様で規定されているデータ項目を提供できること。 (教育情報アブリケーションユニット標準仕様 校務基本情報データ 連携小中学校版【業務1-7-1】のインターフェース仕様、【業務1- 8-11のデーター覧を参照)	必須	Ø				
(01-1-3	学習者情報アプリケーションユニット 小 校版間の情報交換	中学学習者情報アブリケーションユニット 小中学校版のデータは、異な る学習者情報アブリケーションユニット 小中学校版間で交換できる 必要があり、学習者情報アプリケーションユニット 小中学校版は、 以下の機能を提供できること。						
01-1-3	-1 データエクスポート機能	学習者情報アブリケーションユニット 小中学校版は、【業務1-9-1】 のインターフェース一覧の「指導要録情報メッセージ」をエクスポート	必須	O				
01-1-3	-2 データインポート機能	できること。 学習者情報アプリケーションユニット小中学校版は、【業務1-9-1】 のインターフェース一覧の「指導要録情報メッセージ」をインポートで きること。		O				
01-1-3		学習者情報アプリケーションユニット 小中学校版は、利用側の学習 者情報アプリケーションユニット 小中学校版とのデータ連携(データ エクスポート/データインポート機能)時に、標準仕様のコード辞書に 定義された値に変換できること。 (教育情報アプリケーションユニット標準仕様 校務基本情報データ 連携 小中学校版【業務1-13】【業務1-13-1】のコード辞書を参照)		Ø				
01-2	学習者情報アプリケーションユニット 小 自治体業務アプリケーションユニット標準							
	様の「20 就学ユニット」と学習者情報ア ケーションユニット 小中学校版間の学員 情報交換	プリプリケーションユニット標準仕様の就学ユニットとの間の標準仕様	選択	Ø				
01-2-1	-1 データインポート機能	学習者情報アプリケーションユニット 小中学校版は、就学ユニット がエクスポートした学齢薄情報をインポートできること。	条件付必須 (※1)	©				
01-2-1	-2 コード辞書に対応	学習者情報アブリケーションユニット小中学校版は、学齢薄情報の インボート時に、自治体業務アブリケーションユニット標準仕様の コード辞書に定義された値を認識しとりこめること。 (自治体業務アブリケーションユニット標準仕様【業務1-7 インタ フェース仕様】および【業務1-13】のコード辞書を参照)	条件付必須 (※1)	Ø				
(※1):		ョンユニット標準仕様の就学ユニットと学習者情報アプ 対応できる製品として登録する場合、必須機能である。		ニット				